

東京六大学ピアノ連盟
第25回定期演奏会



2020年10月

PROGRAM

1. 金村奈緒（慶應義塾大学 3 年）

ショパン：ピアノソナタ第 3 番 Op. 58 第 1, 4 楽章

2. 和田玲央（東京大学 2 年）

リスト：伝説 波の上を歩くパオラの聖フランチェスコ S. 175-2

3. 大久保那菜（早稲田大学 2 年）

ベートーヴェン：ピアノソナタ第 21 番「ワルトシュタイン」Op. 53 第 2, 3 楽章

4. 黒住菜月（上智大学 2 年）

ラヴェル：ソナチネ M. 40

5. 佐川友紀（上智大学 3 年）

リスト：パガニーニの大練習曲より第 3 曲「ラ・カンパネラ」S. 141

6. 岡優里香（慶應義塾大学 3 年）

ラフマニノフ：前奏曲 op. 32-12、楽興の時第 4 番 Op. 16-4

リスト：「リゴレット」による演奏会用パラフレーズ S. 434

7. 船山凜太郎（早稲田大学 2 年）

ショパン：バラード第 4 番 Op. 52

8. 菅田利佳（東京大学 2 年）

ショパン：ノクターン第 8 番 Op. 27-2、バラード第 1 番 Op. 23

9. 角田千草（立教大学 3 年）

チャイコフスキー：四季より 6 月「舟歌」Op. 37a、ドゥムカ-ロシアの農村風景 Op. 59

10. 木村悠輝（明治大学 3 年）

カプースチン：ピアノソナタ第 6 番 Op. 62

11. 長澤梓音（明治大学 3 年）

リスト：バラード第 2 番 S. 171

理事長挨拶

新緑の候、本日は東京六大学ピアノ連盟第 25 回定期演奏会にお越しいただき誠にありがとうございます。

…と書きたいところではございましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、5 月 10 日(日)にスクエア荏原ひらつかホールで開催予定でした第 25 回定期演奏会を中止することいたしました。本来であれば、各大学から 2 名ずつ選抜された計 12 名の出演者が、精一杯の思いを込めて演奏するはずでした。皆様の安全が第一ですので、今回の中止はやむをえない決断でございますが、楽しみにして下さっていたお客様、運営に携わった六連理事、そして何より、この日のために必死に練習を重ねてきた出演者のことを考えますと非常に心苦しいです。誠に申し訳ございませんが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

本パンフレットは、出演者含めすべての関係者の思いを少しでも形に残したいと考え、作成することいたしました。また、ホールでの演奏会が中止になった代わりに、出演者の演奏動画を当連盟の YouTube にアップしておりますので是非ご覧になってください。

医師の尾身茂さんの言葉ですが、治まらなかったパンデミックは一度もありません。この状況を協力して乗り越え、安全と安心が確保できた頃に、また皆様と会場でお会いできることを楽しみにしております。

東京六大学ピアノ連盟第 25 代理事長

早稲田大学 3 年

東賢司郎

1. 金村奈緒（慶應義塾大学3年）

ショパン：ピアノソナタ第3番 Op. 58 第1, 4楽章

今思えば、大学に入って六連の演奏会でソロの曲で出演するのはまだ2回目であることに少し驚いています笑

演奏させていただく曲は、ショパンのピアノソナタ第3番から第1楽章と第4楽章です。ショパンが34歳の頃に作曲された曲で、39歳で亡くなった彼としては晩年の作品です。この頃にショパンは父親を亡くしていますが、その思いもあらわれていると感じます。

第1楽章はソナタ形式ですが、モチーフの発展に神経を使っているベートーヴェンのソナタと違い、次々に新たなモチーフが現れます。また内容的にも盛り沢山の楽章です。特に展開部ではモチーフが技巧的に展開されていて、演奏する側として難易度の高い部分になっています。

第4楽章は、華麗であり情熱的なフィナーレになっています。ショパンの「熱情」とも呼ばれる曲です。

私なりのこの曲を是非お聴き下さい！



2. 和田玲央（東京大学2年）

リスト：伝説 波の上を歩くパオラの聖フランチェスコ S. 175-2



東京大学2年の和田玲央です。今回はフランツ・リスト作曲の「伝説」より第2曲「波の上を渡るパオラの聖フランチェスコ」を演奏します。この曲は、リスト(1811~1886)が様々な不幸に苦しむ中、カトリック教会に傾倒していく後半生に作られました。題名にあるパオラの聖フランチェスコ(1416~1507)は、イタリアのパオラで生まれた聖人です。彼はリストの守護聖人であり、フランツ・リストの「フランツ」とはパオラの聖フランチェスコから取られた名前です。題材となった伝説は、船頭から乗船を拒まれた聖フランチェスコが、イタリア本土とシチリア島の間のメッシーナ海峡を歩いて渡ったというものです。この奇跡を生んだ揺るぎない信仰心に感銘を受けたリストの、自らを奮い立たせる思いが感じられる作品です。また、荒れ狂う海や聖フランチェスコの足取りなどの描写的表現においても、優れた作品と言えます。精一杯演奏しますのでどうぞお聴きください。

3. 大久保那菜（早稲田大学2年）

ベートーヴェン：ピアノソナタ第21番「ワルトシュタイン」Op. 53 第2,3楽章

皆さん初めまして、早稲田大学2年の大久保です。今回このような演奏会に出させていただき、光栄に思うとともに緊張しております。

ここで、今回演奏する曲の紹介をしたと思います。通称『ワルトシュタイン』と呼ばれるこのソナタは、ベートーヴェンの後期のソナタにあたる曲です。第2楽章は短いながら、その瞑想的で歌謡的なメロディーが特徴で、第3楽章の序章ともとれるような楽章です。そして、高らかなト音に導かれ、第3楽章へ続きます。ロンド形式である第3楽章は長いトリルやアルペジオが特徴的で、スケールの大きい曲となっています。ベートーヴェンはピアノという楽器が次々に改良をされていた時に活躍していた作曲家です。このソナタも当時の最新鋭のピアノを使って作曲したと考えられていて、第3楽章のペダリングにもそれがあらわれています。今回の演奏でこの曲の持つ輝かしさ、豊かさ、壮大さを皆さまに伝えられたら幸いです。



4. 黒住菜月（上智大学2年）

ラヴェル：ソナチネ M. 40



こんにちは。上智大学二年の黒住菜月と申します。本日はお忙しい中、東京六大学ピアノ連盟定期演奏会にお越しいただき、誠にありがとうございます。本日はラヴェル作曲、ソナチネ第一楽章（中庸の速さで）・第二楽章（メヌエット）・第三楽章（生き生きと）を演奏させていただきます。第一楽章は、有名なテーマから始まりますが、指の動きや、強弱の差・曲の展開を表現するのが難しかったです。第二楽章は、和音での動きが特徴的で、一つ一つの和音が非常に洗練されていて美しいです。第三楽章は、締めくくりとして比較的激しい曲調で、音符の量も多く、駆け抜けるような印象を与えます。第一楽章で演奏されたテーマも使われています。

この場をお借りしてピアノを演奏できることを大変嬉しく思います。本日はどうぞよろしくお願ひ致します。

5. 佐川友紀（上智大学3年）

リスト：パガニーニの大練習曲より第3曲「ラ・カンパネラ」S. 141

この曲はニコロ・パガニーニのヴァイオリン協奏曲第2番第3楽章『ラ・カンパネラ』の主題をもとに作られた曲で、ヴァイオリン曲をピアノでも表現したいとリストが考えて編曲したそうです。“カンパネラ”とは“鐘”を意味します。原作を聴くと、高音の繊細な音と伸びやかに奏でられる主題が感じられます。（原作はYouTubeでも聴けるので是非聞いてみてください。）いつか弾きたいと思いつつも高いハードルを感じ今までなかなか着手してきませんでしたが、2月頃よりこの演奏会に向けて練習して参りました。腕から弾いて深みのある音を出し、高音は特に綺麗に透き通るような音を響かせ、原作のヴァイオリン協奏曲の雰囲気はどこか感じられるような演奏を楽しんで頂けるよう努めます。



6. 岡優里香（慶應義塾大学3年）

ラフマニノフ：前奏曲 op. 32-12、楽興の時第4番 OP. 16-4

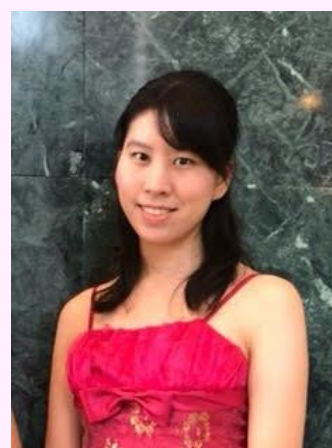
リスト：「リゴレット」による演奏会用パラフレーズ S. 434

本日はラフマニノフの曲を2曲、リストの曲を1曲演奏いたします。

ラフマニノフの前奏曲は広大な雪景色の中をソリが鈴を鳴らして走る様子を表しているといわれ、私がラフマニノフに惚れたきっかけの曲です。一方楽興の時は、この世に存在する全ての生きるものが持つ情熱やエネルギーが凝縮されているようなめまぐるしさを持っています。

リゴレットパラフレーズは、ヴェルディのオペラ「リゴレット」の第3幕で歌われる4重唱をもとに作られました。三角関係の当事者3人と1人の父がもつそれぞれの複雑な感情が多旋律で目まぐるしく歌われており、ヴェルディの手腕が存分にふるわれています。実はピアノと同年数声楽を習い、オペラ歌唱も学んできた私だからこそできる表現を絶賛追い求め中です(笑)。

本日は、念願叶って六連の定期演奏会に出演させていただけてとても嬉しいです。…とはいっても一方でもとても緊張していますが、思い入れのある3曲を精一杯演奏させていただきます。



7. 船山凜太郎（早稲田大学2年）

ショパン：バラード第4番 Op. 52



この度、私が演奏する曲はショパンのバラード4番ですが、ここでは、私自身がこの曲に対して何を感じて演奏するかを述べさせていただきます。

この曲は情緒の濃やかな旋律で充溢し、私は演奏するごとにそれらに魅了されています。多くの練習を重ねる中であってもこの曲は私を魅了しつづけ、その情緒纏綿たる旋律は、私をして至高の美しさを追求せんという心を起こさしむのです。また、私はこの曲の世界が、さながら和歌や漢詩などの韻文文学の世界のように感じてなりません。当然、古典的散文文学の世界観とも通ずる部分もあるでしょう。しかし、時間にして10分程の曲の中に、これだけ多くの情感を呼び起こす要素が凝縮されていることは、韻文文学と最も通じているのではないかと感じたのです。言い換えれば、この曲は一篇の詩歌であるとも言えるのではないのでしょうか。今回の演奏会では、聴衆の皆さんが、この曲を一つの詩であると感じられるような演奏をしたいと思います。

8. 菅田利佳（東京大学2年）

ショパン：ノクターン第8番 Op. 27-2、バラード第1番 Op. 23

本日は、演奏会に足を運んでくださり、ありがとうございます。入会当初から憧れていた舞台に立てることを、とても幸せに感じております。

この素敵なステージに私は、大好きなショパンの2曲を選びました。ノクターンは、甘美で叙情的な旋律とそれを引き立てる分散和音、バラードは、時にもの悲しく、それでいてドラマティックな物語の展開が印象的な作品です。

「わたしはおよそのところを描くのであって、絵を完成させるのは、聴衆の役目なのです」

ショパンは、自らの作曲についてこのような言葉を残し、演奏家と聴き手に、表現と創造の自由を与えたと言われています。私も、彼が楽曲に込めた想いに近づきたい一心で、点字楽譜を読み取りながら練習を重ねてまいりました。

今日は、私の感じるショパンの魅力をも十分に表現できるよう、心を込めて演奏いたします。皆さまも、彼が描こうとした「絵」を想像しながら、楽しんで聴いていただくと幸いです。



9. 角田千草 (立教大学 3 年)

チャイコフスキー：四季より 6 月「舟歌」 Op. 37a、
ドゥムカーロシアの農村風景 Op. 59



こんにちは。第 25 代六連理事の角田千草です。

3 年生になったら少しは大人になっているといいな、という期待を込めてこの 2 曲を選んだのですが、雰囲気掴むことがとても難しく苦勞しました。

舟歌は、ロシアの情景を各月ごとにピアノ曲にした「四季」の 6 月の曲です。舟の揺れ動くリズムとロシアで行われる舟遊び、ロシアの情景など多くの表情が楽しめる曲です。6 月までまだ 1 ヶ月ありますが、とても素敵な曲なので選びました。

ドゥムカは、哀しみの深い部分と華やかな部分の違いが特徴的な曲です。ロシアの農村風景、という副題の通りロシアの情景が目浮かぶようなメロディーです。

この独特な 2 曲それぞれの”哀愁”を表現できるように、精一杯演奏したいと思います。

10. 木村悠輝 (明治大学 3 年)

カプースチン：ピアノソナタ第 6 番 Op. 62

こんにちは。明治大学政治経済学部 3 年の木村悠輝(はるき)です。

この度は定期演奏会という素晴らしい舞台上で演奏できることを大変嬉しく思います。

さて、本日演奏させていただくのは、現代ロシア音楽を代表する作曲家、カプースチンのピアノソナタ第 6 番です。この曲はカプースチン特有のジャズとクラシックが融合した、お洒落でカッコいい曲です。私は普段あまりジャズを弾くことがないので、ジャズ特有のリズムになかなか慣れず、譜読みから苦戦しました。不慣れながらもお洒落さとかっこよさをともに表現できればと思います。



11. 長澤梓音 (明治大学3年)

リスト：バラード第2番 S. 171

東京六大学ピアノ連盟第25代理事を務めております、長澤梓音です！

この曲はギリシア神話に登場する人物、「ヘーローとレアンドロス」の物語がベースになっています。

レアンドロスは、塔の最上階でランプを灯して待っているヘーローに会うために毎晩ヘレスポントス（現在のダーダネルス海峡）を泳いで渡るが、ある冬の夜、激しい嵐となり彼女が灯していた明かりが消えたことにより方向がわからなくなると同時に、波に巻き込まれた彼は溺死。彼女も後を追って塔から身を投げる。

波の動きを表す左手、彼女を求め必死に泳ぐ姿が感じられる右手のテーマの後、彼を求めているような甘美なテーマが何度か交互に繰り返されます。激しい嵐がおさまると幻想的なフレーズで終わりを迎えます。美しく切ないストーリーが再現出来るよう演奏出来ればと思います。

本日の定期演奏会で最後に弾かせて頂けることを大変嬉しく思います。小さい手でリストを弾くのはとても苦労しますが、精一杯頑張ります！



今後の演奏会の予定

2020/11/28、12/6

『オータムコンサート 2020 (オンライン)』

2021/2/12

『第 24 回卒業演奏会』

2021/2/19

『ウィンターコンサート(サマーコンサート延期分)』

2021/3/11@墨田トリフォニーホール

『オールデュオコンサート』

2021/3 某日

『フレッシュコンサート 2021』

詳細につきましては、決まり次第お知らせいたします。



COSMO AGENCY

あなたの毎年の合宿、一度お見比べしてみませんか？

約40,000を超える団体様、100万人以上のご利用実績
コスモエージェンシーだからこそできる「思い出に残る旅行プラン」
サークルや部活動の合宿・旅行のご相談ならコスモエージェンシーへ。

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2丁目14番地18号
あいおいニッセイ同和損保渋谷ビル9階
TEL.03-5778-0960 / FAX.03-5778-0962

<https://www.cosmo-agency.co.jp/>